答えは教わるものではなく、 自分で見つけていくもの

-中学1年生の女の子、Aちゃんのお話-

とうとうある方法にたどりつきます。 ハンガーや洗濯ばさみを手に悩んだ挙句 したことがなかったAちゃん。

ある日Aちゃんは、

お手伝いを頼まれました。 お出かけ前のお母さんに 終わったら干しておいてくれる?」 洗濯機まわしたから、



娘さんから聞き、こう思ったそうです。 帰ってきたお母さんは日中の奮闘を

ちゃんと考えるんだなあって、

いたかもしれない……」

このAちゃんのお母さんというのが、

Mデンタルクリニック松野歯科の

患者さんの意欲を引き出すための 娘さんの成長ストーリーが 大きなヒントになったといいます。

我が娘ながら感心! 。こうやるのよ!』って押し付けちゃって もしその場にいたら我慢できなくて、 機会さえ与えれば自分で



何を見直したらいいのかスタッフ同士で話 治療させないくらいの覚悟が必要なんだと、 メインテナンスへ来てもらうからには二度と たけど、その頃とは意味合いが全然違う・ どこか反省点があるはずですよね。そこで、 ていないのが現実でした。定期的に通って 責任の重さをズッシリ感じています。 けばいいや」と思っていたところがありま-では私も「とりあえず定期的に通う習慣がつ ときいらっしゃって……。ということは、 何も変わらない! るのにむし歯になってしまう方が、とき ここ数年、どこへ行っても。歯を守る。と だけど、まだまだ思うように結果を残せ

PMTCやお話を頑張っても、

に考えていただく時間をつくるのはどう け行なっていても歯は守れないというデー ました。「最近、プロフェッショナルケアだ し合っていた頃、院長からある提案があり

も変わらないんですよね。 ちゃうこともあります。でも、それじゃ何 で片付けがちですし、場合によってはそ る部分があったりすると「隣接面にプ

じゃなくて、患者さんに気づいてもらって. うにしました。こちらがすべて説明するん ちゃったと思いますか?」と考えてもらうよ こに残っていますか?」「何でそこに残っ げかけることに。染め出しをした後も「ど ずは患者さんに「どう思いますか?」って投 そこを今までとはまったく逆にして、ま

たとえば口腔内を診て何か気になるこ

張ってください」とか。すべて決まり言葉 ラークが残っていますからフロスを頑 とがあると、歯科衛生士としてはどうし も伝えないまま黙ってPMTCをし

Mデンタルクリニック松野歯科の『自発的参加型予防』メインテナンス ※メインテナンス時間1時間の場合 1.前回までのおさらい 2. 歯周組織検査·説明 10分 3. 染め出し 1分 15分 4. 口腔内写真撮影 『デンタルハイジーン Vol.36 5.リスク部位の確認 No.11 2016.11』に詳しい取り 6. ブラッシング評価 組み★が掲載されています。 7. ブラッシングアドバイス P.1198「患者さんがみずから 考え行動する! "歯を守れる 9. その日の振り返り メインテナンスの実践"」

"歯を守る"って、 私たちだけで背負える ことじゃないんです!

小野 なほ子さん ■ 臨床歴 15年

Mデンタルクリニック松野歯科/山梨県



"歯を守れるメインテナンスの実践"を院長先生が宣言していることで、 健康観の高い方が多く来院するMデンタルクリニック松野歯科。 「定期的にクリーニングを行なうことだけが予防歯科ではない」と考え、 小野なほ子さんを始めとする歯科衛生士たちも 『自発的参加型予防』に取り組んでいます。 "話す"より"聴く"に徹することで、 メインテナンス移行率、継続率がどんどん伸びているのです!

自分で見つけてくれます 最初は「本当にうまくいくのかなぁ」っ

答えは患者さんが、

も、自分の問題として捉えてもらえるよう 合ってくれるんですよ。こちらからの指摘 ヤバそう」って気づけるから、ちゃんと向き ん返ってきましたね! 治療した」って患者さんから答えがどんど ないんだろうと思ってた」「若い頃に何度も 飴を食べている」「歯並びが悪いから磨けて くて。聴けば聴くほど、「そういえばずっと て半信半疑でしたが、これが意外と反応よ ご自身で「なんか

自分の口の中がよくわかる」なんて言って に落ちるみたい。飴を食べる回数を減らし も自然と頭の中でつながって、いろいろ腑 に引き出せるとこちらがお伝えする知識 らに深く見えてきます。個人個人の話を先 本人のお話を聴かせていただくことでさ るんじゃないかな」と私の中での予想が、ご くださる方も出てきました。 ||寧にしてくれるようになったり。「最近 なかでもすごく変わられたのは、40代の くれたり、捻転している歯のお手入れを それに、「もしかしたらこんな原因があ

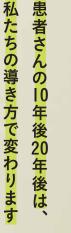
> くなりました。 増やしてからはまったくキャンセルされな かがったりご自身で考えていただく機会を なることもしょっちゅう。それが、お話をう じで仕事が忙しいときは当日キャンセルに あえずここに通っていればいい」という感 テナンスを受けてくださるのですが、「とり 男性です。基本的に3ヶ月に1回のメイン

おまけぇ ね。じっくりお話する時間も ~PMTCの にすればいいや」と思っていましたから、 B-すらほぼやっていなかったんですよ 以前は私も「忙しそうだしここでキレイ くらいにしか考えてなくて……。

ビックリしています。

辺りがずっと気になっていて、「家で掃除す 分だと思いますか?」と聞いたことで「やら なきゃ」と思ったようで。実は上顎大臼歯の でも、こちらが意識的に「今の歯磨きで充

るだけでこんなに違うんだなって、正直 のが楽しそうですよ。ちょっと視点を変え ウトやフロスの使い方も積極的に聞いて ら、通う姿勢が変わった気がします。プラ くださるし、何よりメインテナンスに来る るものだと思ってなかった」と教えてくれ そこをご自身で磨けるようになって



もないんですよ。 手を抜いていいことも見過ごしていいこと になりました。本当に歯を守るためには、 ましたが、改めてそうなんだなぁって反省 いても意味がないのかなと薄々感じてはい プロフェッショナルケアだけに力を入れて 試行錯誤しなくちゃいけないんですよね。 うにはどうしたらいいか」までを私たちが らこそ、「普段からご自身に意識してもら をつけていくのは患者さん本人です。だか り、むし歯にならないように生活習慣を気 ることではありません。日頃のケアをした *歯を守る*って、歯科医院だけで背負え

"歯科医師が話すのをやめ、 患者自身に考えさせることで 彼らは歯の健康に興味を持ち始めた。 このように内省的な思考に 熱中しているときにのみ 患者は成長・進化する"

そもそも患者さんだって、本当は普段か

私たちがその環境をつくれるかどうかで、 ちゃうけど、やっぱり歯科衛生士ってすご ていきますよね。考えるだけでドキドキし 患者さんの10年後20年後の未来は変わっ うのは、意識しなければできないこと。 もらったりご自身と向き合ってもらうとい はすごく簡単です。でも、患者さんに知って 自分たちの手で何とかしちゃうっていうの 正しい知識を一方的にお伝えしたり 現状の評価 今のあなた自身の歯と歯ぐきの健康状態は、10点満点で どのくらいだと思いますか? ●あなたは今後の歯と歯ぐきの健康状態を、10点満点の どのくらいにしたいですか? 初診時には、必ずこのようなアンケートをとっている

小野さん。「現状の評価」が低い場合、患者さんが今 の自分に何か不足を感じている表れです。過去の 歯科体験や将来どうなりたいのかを時間をかけてヒ アリングし、生涯にわたる健康への目標設定を徹底 的に行なっています。

-- ロバート・F・バークレー

たちだったのかもしれないですね。

的に通う」を目的にさせてしまったのは私 患者さんの思考を止めてしまって、「定期 金をかけてくださらないじゃないですか。 し、期待していなければわざわざ時間とお インテナンスに来てくださらないだろう に磨けないのかな」って。そうでなければメ し歯になっちゃうのかな」とか「なんで上手 らいろいろ思っているはずです。「なんでむ